知財実務のパラダイムシフト：自律型AI「Perplexity Computer」がもたらす変革

技術的基盤：信頼性とセキュリティの両立

機密情報を守る
ローカル実行環境

Model Councilによる「事実誤認40%削減」

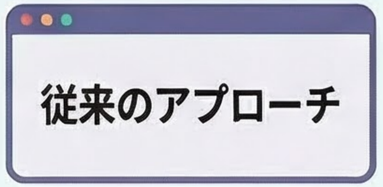
Personal Computerによる「ゼロトラスト環境」

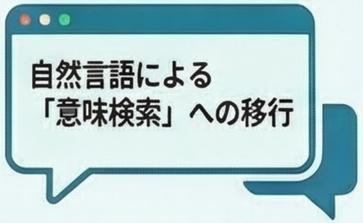
ローカルのMac miniをプロキシとし、未公開の発明情報を外部に漏らさず安全に解析。

19のフロンティアモデルを動的に統合

法律、技術、コード、図面生成など、タスクごとに最適なAIを自動選択して実行。

実務の変容：調査から価値評価まで





従来のアプローチ

- 専門家による機械的な演算子/分類コード入力
- 限定的な特許データベース
- 大量の文献リスト（手動フィルタリング）

Perplexity Patents

- ユーザーによる自然言語入力
- 特許＋NPL（論文/GitHub/ウェブ）
- 機械化された洞察と引用元へのリンク

金融データ統合によるリアルタイム知財評価

M&Aや投資判断に直結する価値レポートを即座に生成。

常時稼働する「デジタル知財部員」

IDS作成　明細書の矛盾チェック

Custom Skillsにより、IDS作成や明細書の矛盾チェックを24時間バックグラウンドで自動実行。